

OPINION

4月の後半2回は、リーム中産連がJICA(国際協力機構)から受託し、2月に実施したアフリカの国々を対象とする「企業経営者の経営能力向上」研修修了者のコメントを継続する。アフリカは遠

ナビゲーター

く感じるかもしれないが、60近い国々が存在して、政治的にも経済的にも影響力を強めている。日本をどのように見ており、どのような期待があるのかご紹介したい。なお、3月末に2名からのレポートを紹介しており必要により参

日本への期待
世界各地から

其
2

P D C C A サイクルなど学ぶ

照いただきたい。

エチオピアのメンベレです。エチオピア改善機構(EKI)で、上級コンサルタントとして働いています。私が専門職としてコースに期待したのは、品質向上に関連するものが中心でした。研修は品質方針の構築や顧客の期待に合致し、どのように適切に協働するか戦略に関する知識の形成から始まりました。P D C C A サイクルを学び、継続的な改善にどのように具体的に寄与するのかを習得し

エチオピアとエジプト

ました。EKIの現在の課題は、製造業関連の生産性、品質、環境、納期などのKPIを改善することです。社内外から製品の品質、納期が適切か、作業環境がどう見えるのか、これらを評価することが私たちの課題です。

この研修コースから私は、国内企業の問題を科学的にどう解決するのかを学び、さらに日本企業の場合はどう問題を解決して、国際的にどう力をつけていったのかを知ることができました。加えて、日

本企業が人材をどう効果的に活用し、社員の退職を避けるようにしているかを学びました。これらはいへん有益なものです。なぜならエチオピアでは、社員の退職が大問題となっているからです。私はコンサルタントです。で、日々の仕事の中で企業の問題を解決するために、この研修コースで得たものを活用して、対象企業を選び、その企業の問題をなんとか解決していきたいと思っています。エジプトのマシャドです。

カイロの産業近代化センターで働いていますが、ここはEU(欧州共同体)による基金で運営されています。ここで私は、産業開発計画部門の生産性・競争力強化計画に関するマネジャーを務めています。事業開発サービスの拡充やこの事業の受益者である中小企業の利益率の最大化がはかられるような職責を担っています。

研修参加前、日本的な改善アプローチと事業マネジメントを学ぶことを目的にしました。それぞれの専門領域に通じた日本の講師陣による知識と訓練を経験して、ムダどりを改善方法を活用した事業開発を習得しました。ある講師から、エジプトの中小企業に最大の影響を与えるための、プロジェクトを改善する方法を学びました。

現在、プロジェクトの展開方法を更新する段階にありますが、現状を研究し分析するチームを編成して、関係する全支援者に公開する前に、テストプロジェクトでその効果を検証しようとしています。

日本に期待するのは、もっと成功してもらい、産業支援に関する最新技術や方法論を研究普及して、世界をリードしてほしいということです。

【リーム中産連】

(月曜日に掲載)